

## 令和 5 年年頭所感

日時：令和 5 年 1 月 4 日 11 時 45 分

場所：本庁舎 3 階会議スペース

青森市長 小野寺 晃彦

---

### 目 次

---

1	はじめに	1
2	年末年始のスポーツについて	1
3	新年の展望について	1
	3 - (1) 物価高騰対策について	1
	3 - (2) 青森市のこれからのまちづくりについて	2
4	結びに	3

## 1 はじめに

---

明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、心新たに初春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

## 2 年末年始のスポーツについて

---

今年もスポーツの話題から御報告させていただきます。

全国高等学校サッカー選手権大会において、前回大会覇者の青森山田高校が連覇を目指し、このあと鹿児島県代表の神村学園(かみむらがくえん)との準々決勝に臨みます。

また、全国高等学校ラグビーフットボール大会においても、4年連続4回目の出場の同校が、1回戦で、群馬県代表の明和県央(めいわけんおう)高校と対戦し、初出場から通算して、花園4勝目を挙げました。

そして、本日から開催されます春の高校バレー、全日本バレーボール高等学校選手権大会には、青森西高校が6連続で本県代表として出場いたします。

本市の若者たちが全国の舞台に挑み、活躍する姿は、「スポーツの推進」を掲げる本市にとっても誇らしいものであり、今後も挑戦するアスリートの皆さんにエールを送り続けていきたいと思えます。

## 3 新年の展望について

---

### 3-(1) 物価高騰対策について

---

#### 【青森市プレミアム付商品券】

さて、新型コロナウイルス感染症の影響も3年に及ぶとともに、ロシアのウクライナ侵攻に端を発するエネルギー・食料品価格等の物価高騰により、地域経済は厳しい状況が続いています。

このような状況を踏まえ、本市においては、市内全域の消費を喚起するため、昨年夏に実施し好評を得ました「青森市プレミアム付商品券」を再度発行いたします。

商品券の販売期間は1月7日（土）から2月19日（日）まで、利用期間は1月7日（土）から2月28日（火）までとしており、商品券の購入に必要な購入引換券は、本日（1月4日（水））から郵送を開始し、1月6日（金）までには市民の皆さまのお手元に届く予定となっております。

また、商品券の販売・利用開始をPRするため、利用開始日前日の1月6日（金）には、利用店舗として御登録いただいた昭和通り商店街の店舗に私が訪問し、のぼりやポスター等の販促グッズを手渡すこととしております。

市民の皆様におかれましては、ぜひこのプレミアム付商品券を物価高騰に対する家計負担の軽減に御活用いただきますとともに、事業者の方々におかれましては、利用店舗として御登録いただき、販売促進等に役立てていただきたいと思います。

### 3-（2）.....青森市のこれからのまちづくりについて.....

また、令和5年はこれまでに蒔いてきた新たな街づくりの種が次々と芽吹いてく年でもあります。

#### 【青森駅西口駅前広場】

市西部では、令和3年9月から、自家用自動車駐車場、バス・タクシーの乗降場、バリアフリー対応トイレ等を備えた「青森駅西口駅前広場」の整備を進めており、令和5年3月22日（水）の供用開始を予定しております。前日の3月21日（火・祝）には、「西口駅前広場落成式」を開催し、地元の皆様方と一緒に完成をお祝いしたいと考えております。

この西口駅前広場の供用開始により、春からは、この西口駅前広場から「市営バス」、「ねぶたん号」の発着が始まり、西部方面へのアクセスの拠点として、青森駅西口の利便性が大きく向上します。

### 【新町一丁目地区再開発事業】

そして、市中心部では、良好な市街地整備環境を形成するための事業が民間主導で進められております。

新町一丁目地区では、東北では例のない老舗百貨店の建替えと併せ、マンションと生鮮食品等を扱うマルシェを整備する複合施設「THREE（スリー）」が、令和5年3月に完成し、4月25日（火）にグランドオープン予定と伺っております。店舗部分は東北初出店となるショップのほか、食のフロア、ファッションフロア、クリニックなどのメディカルフロアからなり、また、約200人の新規雇用も予定しているとのことで、青森駅周辺地区の更なる賑わいの創出と併せ、雇用創出も期待されます。

## 4 結びに

---

さらに、本年の明るい話題といたしまして、東北6県が順々に開催してきた「東北絆まつり」が令和5年6月に、いよいよ本市で開催されます。

具体の日時や会場、開催概要については、2月の東北絆まつり実行委員会後に行われる記者会見で発表いたしますが、盛岡のさんさ踊り、秋田の竿燈、仙台の七夕、山形の花笠、福島のわらじまつり、そして青森ねぶたの豪華な共演を市民の皆様にお楽しみいただけることはもちろん、国内外から集まる多くの観光客の方々をおもてなしの心でお迎えいただければ幸いです。

私はこれからも「魅力が集い、ひとが行き交う、県都あおもり」の街づくりに挑戦してまいりますので、市民の皆様には、より一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、幸多い年となりますことを心からお祈り申し上げ、年頭に当たっての所感といたします。